

2026年度京都SCチャンピオンシップ水泳競技大会 2次要項

日本スイミングクラブ協会京都地域事業企画委員会

1. 新型コロナウイルス、インフルエンザ等感染症対策について

- (1) 当日体調がすぐれない場合は来館しないこと。
- (2) 1F アリーナ内および2階控え場所への入場は出場する選手、引率責任者および学校が認めたコーチ、競技役員のみ許可する。
- (3) 3階観客席は保護者等一般来場者の観戦スペースであるため選手の控え場所としての使用は不可とする。

2. 競技について

- (1) 本競技会は、2026年度公益財団法人日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技進行は、原則タイムスケジュールに従って行う。
- (3) 競技は、予選・決勝方式にて実施する。なお、一部種目はタイムレース方式とする。
- (4) 全競技、10レーンで行う。
- (5) 招集は、競技開始20分前から行う。招集所で水着、テーピング、商業ロゴマークの確認を行う。
- (6) 競技を棄権する場合は、所定の用紙(各クラブで京都水泳協会ホームページよりダウンロード)に記入し、当日午前8時30分までに大会本部に届け出ること。指定時刻以降は、棄権料3,000円を添えて棄権届を提出すること。なお、無断で棄権した場合は、罰金3,000円を別途徴収する。
- (7) 決勝・タイム決勝競技は、レーン紹介を行う。
- (8) 50m～200mの自由形・平泳ぎ・バタフライ・個人メドレーの各種目は、オーバーザトップ方式を採用する。
- (9) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (10) 背泳ぎ、メドレーリレーにおいて、バックストロークレッジを使用する。
- (11) 競技成立後は、自レーンより退水すること。
- (12) 本大会は SEIKO システムを使用する。詳細については、「9. SEIKO システムについて」を参照すること。

3. 表彰について

- (1) 本大会での表彰式は、競技終了後に団体・優秀選手表彰を行う。ただし、日本、日本高校、日本中学、日本学童の各短水路記録を突破した場合は、別途表彰式を実施する。
- (2) 各競技6位までの入賞者には賞状、3位までの入賞者には副賞のメダルを授与する。
- (3) 賞状・副賞の受け取りは、各日全競技終了後、大会本部後方(記録室通路付近)で行う。

4. 全体スケジュール

- (1) 全体の競技予定時間は以下の通りとする。

日時	開門時刻	W-up	公式スタート	競技開始時刻	競技終了予定時刻	閉門時刻(予定)
5月5日(火祝)	7時30分	7時45分	8時30分	9時30分	16時05分	17時00分
5月6日(水祝)	7時20分	7時30分	8時15分	9時15分	17時20分	18時30分

- (2) 競技役員主任ミーティング、控え場所の場所取り入場、リレーオーダー締切はそれぞれ以下の通りとする。

日時	場所取り入場会場準備	競技役員集合時刻	競技役員主任会議	競技役員全体会議	メドレーリレーオーダー締切	フリーリレーオーダー締切
5月5日(火祝)	7時00分	8時00分	8時15分	8時45分	9時30分	なし
5月6日(水祝)	7時00分	8時00分	8時00分	8時30分	なし	9時15分

- (3) 開門に先立ち、控え場所の場所取りおよび会場準備のため、各チーム代表者(コーチ等)1名のみ、所定時刻に2Fインフォメーション前に集合のこと。集合後、場所取りをしてから会場準備に入るものとする。

(所定時間に集合していない場合は待機場所を確保できない可能性がありますので必ず1名集合すること)

5. プールの使用について

(1) 50m長水路プール

- ①水深は1.4mに設定する。
- ②練習は競技開始15分前までとする。
- ③0レーン・9レーンは、アップ開始時刻よりスタート側からのダッシュレーンとする。
公式スタート練習は、0・1・9レーンにて実施する(人数により、順次レーンを増設する場合がある)。
- ④ダッシュ・公式スタートの順番待ちは、0レーン側・9レーン側それぞれプールサイドからの1列とする。
- ⑤ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
- ⑥公式スタート練習は、両日ともに公式スタート開始予定時刻より30分間とする。
- ⑦練習時、右側から入水せず、左側より足から入水すること。
- ⑧1日目のみ、8レーンをペースレーンとする。800m・1500m自由形に出場する選手のみが使用できる。
使用にあたっては、競技役員のチェックを受けることとする。

(2) 飛込プール

- ①水深は5m(固定)になっている。
- ②練習は競技開始から競技終了後15分間までとする。
- ③使用レーンなどの可否は当日通告にて案内する。
- ④練習用のため、スタート練習(飛び込み)は禁止する。また練習目的外での使用、他の選手の妨害行為は厳禁とする。

6. 会場の使用について

- (1)選手控え所は、メインプール2階のスタンド・後方通路とする。(3階は使用不可)
- (2)選手・付添の応援エリアは、1階アリーナ内には設置しない。2階観客席での応援とする。
なお、1階アリーナにコーチ席を設置する。競泳競技規則を遵守のこと。
- (3)1階アリーナ内での応援は禁止する。また、プール内階段での応援も禁止する。
- (4)プールサイドは、靴底が白い上履き(スリッパを含む)に限り使用を許可する。大会役員・競技役員および引率責任者、コーチ(19歳以上に限る)の他、選手も対象とする。※外靴の使用は厳禁とする。
- (5)「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を遵守すること。
- (6)1階アリーナ内および2階観客席には、保護者等一般は立ち入ることができない。
- (7)更衣室のロッカーの使用はできるが、控え場所としての使用及び飲食は禁止する。
- (8)更衣室の荷物は、競技終了後は必ず持ち帰ること。置き荷物は、忘れ物として扱う。
- (9)会場設置のコンセントの使用を禁止する。使用が判明した場合、該当使用機材を没収する。
- (10)危険防止のため、2・3階観客席最前列の通行を禁止する。なお、使用については許可する。但し、最前列前の透明フェンスにもたれかからないこと。
- (11)会場のゴミ箱を使用せず、各自持ち帰って処理すること。
- (12)大会終了後、使用した控所の清掃にご協力ください。なお、全体の後片付けにあたっていないチームは、自団体控所の清掃終了後、すみやかに退出すること。
- (13)大会終了後、館外でのミーティングは禁止する。

7. 引率責任者、競技役員への連絡事項

- (1)会場準備のための館内入場は6時30分以降、競技役員用駐車場への入場は、6時20分以降とする。それ以前に周辺道路で待機しないこと。
- (2)場所の関係上、車両台数に制限があるため、駐車許可証を提示した車両のみ許可する。駐車許可証を掲示しない車両は駐車を認めない。
※駐車許可証は京都SC協会、京都水泳協会、京都府中・高体連水泳専門部が発行する本年度有効の許可証とする。
なお、台数制限があるため、入り口にて担当者が不許可とする場合もあります。
※許可対象は競技役員のため、チーム引率車両に対する許可は行わない。
- (3)台数制限があるため、乗り合うか、可能な限り公共交通機関を利用すること。

- (4)盗難防止のため、貴重品の保管については、各選手・監督の責任において管理すること。
- (5)会場におけるトラブルが発生した場合、当該者の関係所属団体先を確認の上、当該引率責任者による事後対応を行うこと。

8. 保護者等への注意事項の連絡について

- (1)出場団体の責任者は、以下の点を事前に選手・保護者等に連絡すること。
 - ①選手送迎に関する「京都アクアリーナを使用する競技会での送迎等について」を事前に確認すること。
 - ②当日、自動車等で会場周辺に駐車して待機しないこと。
京都アクアリーナ周辺住民より苦情が報告された場合、競技を止めることもある。
- (2)保護者等一般来場者の入場及び応援にあたって
 - ①**3階観客席を応援可能とし、入退場は3階レストラン側からのみとする。**
※2階インフォメーション横からの入退場は不可。
 - ②入場開始時間は8時30分とする(会場状況により前後する場合もある)
- (3)撮影にあたって
 - ①本大会は、撮影時には撮影許可ビブスの着用が必要となります。撮影許可ビブスは登録団体への販売のみとし、撮影を希望する個人への販売は行いません。撮影を希望される場合は、出場するチーム代表者に問い合わせをしてください。

※ビブスを手で持っていたり、カバンに入れているだけでなく外見でわかるように着用して撮影をしてください。

 - ②当日のみ有効の撮影許可ビ布斯(貸し出し用)は、発行しません。
 - ③撮影対象が競技会方針と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求めるとする。事案によっては、警察に引き継ぐこともある。
 - ④不審と思われる行為を受けたり、見かけられたりした場合は、近くの競技役員まで申し出て下さい。

近年、各種競技大会において日本水泳連盟や京都水泳協会の目的を逸脱した営利目的・わいせつ目的等によるビデオ・写真などの撮影が行われ、インターネット・雑誌その他の媒体に掲載、販売される事態が散見されております。競技大会の円滑な運営と選手保護・育成のため、撮影に関する一定のルールを設けております。

9. SEIKO システムについて

- (1)SEIKO 社の全自動計時システムをタッチ板・スタート台等で使用する。
- (2)スタート台の斜角度は10° とする。
- (3)スタート台にはスターティングブロックを設置する。本大会はスターティングブロックの調整を許可する。
なお、使用にあたっては各自の責任において調整すること。
- (4)スターティングブロック部分の固定は確実にすること。固定せずに使用して破損した場合は、実費相当額を負担すること。
- (5)本大会はバックストロークレッジを使用する。使用しない場合は各レーンの競技役員に申し出ること。

10. その他

- (1)忘れ物の問い合わせについては、京都地域事業企画委員会まで。※個人での問い合わせは受付不可
メールアドレス jscakyotoswim@gmail.com ※問い合わせは大会終了後2週間までとします。
- (2)本大会では、超速システムを運用する。
- (3)リアルタイム動画の配信はおこなわない。

上記項目についての選手への事前指導、送迎の保護者の方への事前連絡について、各チームの代表者・引率責任者・担当者が責任をもって周知徹底すること。

なお、使用状態が悪い場合、今後の会場使用ができなくなることもある。十分に注意すること。

京都アクアリーナを使用する競技会での送迎等について

京都水泳協会

京都アクアリーナを使用する競技会等について、開場前および大会終了後での車両による送迎について、周辺住民の方々へ迷惑となるような行為が確認されています。

京都アクアリーナ周辺は住宅地であり、生活上での支障となるケースもあります。このため、以下のような形で対応頂くよう、関係者への周知徹底をお願いします。

<留意事項>

- ・京都アクアリーナ周辺の一般道路（図の赤い部分）では、駐停車は禁止されています。ここでの大会関係者の送迎（朝・夕方）はおやめください。
- ・駐車場の開場前、大会終了予定時間に、路上で長時間駐停車をしないでください。
※警察による交通取り締まりについて、本協会は一切の責任を負いません。
- ・朝、開場するまでの時間帯は外で大声を出す、走り回る等の行為はやめてください。

